



GEKKAN ORIMOTO

## 月刊 織本

10

2012年10月1日 Vol.218

発行 医療法人財団 織本病院

印刷 〒204-0002

東京都清瀬市旭が丘 1-261

TEL 042-491-2121

URL <http://www.orimoto.or.jp/>

発行人 高木 由利



仙人掌

## 織本病院創立60周年

## — 伝承と創造 (1) —



理事長・院長 高木 由利

大変な残暑も終わりを告げ、夜は静かな虫の声を楽しむことができます。今年もあと数ヶ月しかありません。1年が早く過ぎるのは年をとったからだ若い人達に笑われてしまいました。

\* \* \*

織本病院は今年60周年を迎えます。私は今年勤続24年なので、この病院の後半の1/3しか知らないということになります。1つの組織が長く存続するには大切なことがいくつかあります。私は最も重要なことが“伝承と創造”であると考えています。

当院には昔から多くの行事がありました。木造平屋の竹丘にあった病院では、外にテントを建てて演劇祭があり、病院の庭では家族総出の職員運動会、ダンスパーティー、クリスマスパーティーなど、昔からお祭りごとが好きだった創立者である私の父の性格がよく表されています。その様な賑やかな行事以外にささやかな行事もあります。それは行事食と呼ばれる様々な病院食です。お正月料理、お雛祭り料理、五月のお節句、秋分の日、クリスマス料理などは、もしかしたら日本中の病院で行われていると思います。しかし、当院にはもう1つの小さな行事食があります。それは

毎月1日のお昼に出される、<sup>つたち</sup>お赤飯を中心とした日本料理の祝い膳です。当院は昔、結核病院と呼ばれていました。画期的な抗結核剤リファンピシンが登場するまでの当時の肺結核の治療の中心は、“天地療養”だったのです。つまり、良い空気を吸って少しでも栄養のある物を食べて静養するといったことです。食糧事情の良くなかった当時、考えられる栄養のある食事はお赤飯だったようです。そして、これで元気を出してめでたく退院にという願いが込められていたと聞いています。実はその1日のお赤飯が少なくとも50年間続いていることを私は知りました。先日当院に入院された方が、織本病院に入院したり通院したりして50年になるというのです。その方が今回たまたま入院中に



10月1日(月)のお昼ごはん

ついでに

1日のお赤飯に出会い、涙を流して喜んで下さいました。50年間この小さな行事が受け継がれていることに温かい心を感じたとおっしゃり、私は思いがけなくお礼を言われたのです。でもこれは栄養科の人達が、この小さな行事食を大切に受け継いでくれた結果なの

です。私が理由を述べ、こうしてくれ、ああしてくれと言わなくても、良い伝統を自然に受け止めてくれることが最も正しい“伝承”だと私は感じ、職員達に心から感謝しているのです。

“伝承と創造”の第一歩は、いかに良い事を“伝承するか”から始まるのかもしれない。

## 組織目標 実現のために vol.2

### ブランドと仕事 ⑫

専務理事・事務部長 箕輪 比呂志



猛暑も峠を越えた頃、1階待合エリアにある、マレーシアシャクナゲのビレアが今年2度目のオレンジの花を咲かせまし

た。ビレアの「匍匐（ほふく）性」の品種は珍しいと聞きます。来年は、より多くの花を咲かせるために大きな株に育てたいと思います。

先月号では、織本病院の組織目標「地域医療への貢献」を実現するための戦略である「積極的治療の実践」に取り組むために、「個人目標管理シート」を導入したことをお伝えしました。この「個人目標管理シート」の導入により、各部署が年次目標を定めて個人の行動を管理することができ、先月号でその具体的な事例を栄養科・調理室に紹介してもらいました。続いての具体的な目標の紹介を「施設管理課」を統括している山本課長にお願いしました。

## 『施設管理課』組織目標の設定

施設管理課 課長 山本 伸夫



施設管理課の業務内容は、① 施設の維持・管理 ② 医療材料等の払い出し・在庫管理 ③ 医療及び労務関係のシステム開発・管理の3つです。また、院内行事の運営などにも主体的に関わっています。

私は平成10年3月に当院に入職し、今年で14年目になります。主に施設の維持・管理を担当しています。当院の建屋は昭和44年竣工であり設備が老朽化しているため、利用者にやさしく、使いやすい環境作りを目指して、平成11年からリニューアル工事を行

ってきました。現在行っている外来エリアの改修工事が終わると、地下1階～4階までのリニューアル工事が全て終了します。

システム関係についても新システムの導入を検討する時期となっています。当院は、約20年前からシステムエンジニアを採用し、当院独自の労務システム・診療システムの開発・運用をしてきました。しかし、老朽化による機器のトラブルも出ており、システムの更新が最重要課題となっていました。そこで、この課

題を解消するために、昨年12月から新たな人材を採用し新システム導入を開始しました。知識豊富な新たなメンバーを迎えたことで、良い刺激を受けています。

織本病院は今年で創立60周年を迎えることから、病院のあるべき姿を一人一人が考える時ではないかと思えます。施設管理課は常勤5名、パート2名の小さな部署ですが、みんなで力を合わせて頑張っていきたいと思っています。

\* \* \*

織本病院の組織目標である「地域医療への貢献」を実現するための病院経営戦略「積極的治療の実践」を念頭に置き、施設管理課の3つのあるべき姿を考えました。

#### 《3つのあるべき姿》

- 1：組織目標を個人目標に落とし込むことで、課内メンバーの自主性とやる気が高まっている。
- 2：課題抽出の中から優先順位を決めて、これらを目標として具体的な行動に移している。
- 3：課内メンバー同士が連携することで、組織力の向上が図れている。

3つのあるべき姿を実現するために、施設管理課の

目標を設定しました。

#### 《施設管理課の目標》

- 1：業務内容の現状の再確認を行い、課題・問題点の整理を通じてやるべき事を明確にする。
- 2：各部署の要望を実現できる体制を作る。

この施設管理課の目標を達成するために私自身の個人目標を作りました。

- 1：設備・機器の現状を再度調査し、将来を見据えたりリニューアル計画（短期・中期）を作成し実行する。
- 2：防火・防災体制を見直し、より安全な体制を構築する。

- 3：課内メンバーとのミーティングのあり方を見直し、連携を強化することでチームとして成果を出す。

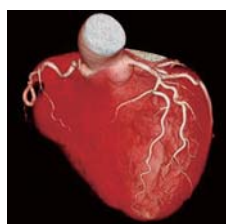
課内メンバーは、課の目標、私の個人目標に基づき、それぞれの目標を作成していきます。

今までの施設管理課は業務内容が広範囲で、突発的な問題に対応することが多いこともあり、日々の業務に追われているのが現状でした。目の前の問題のみを考え、非常に視野が狭かったと思います。今回病院の組織目標に基づき、課の目標・個人目標を設定することで、進むべき方向を明確にしていきます。

## CTが新しくなりました!

当院では、2012年6月下旬に最新鋭機種（この機種は都内では当院が最初に導入）である64列CT（フィリップス製 Ingenuity CT）を導入しましたので紹介したいと思います。

以前のCTは、検出器という人体を透過したX線を受信する装置が2列でしたが、新しく導入したCTは64列になりました。それにより、スキャンスピードが速くなり、尚且つ画像データが多く取り入れられることで、輪切り像だけでなくいろんな断面を画像として作ることが出来るようになりました。また画像を再構成するソフトも搭載されており、立体的な画像や画質の向上、被爆低減等が可能となり、患者様にやさしい装置が入りました。



**外来診療体制表** (第1、2土曜日の午後は休診)

午前受付 8:30～11:30 (診療開始 9:00)  
午後受付 13:30～16:30 (診療開始 14:00)

		月	火	水	木	金	土
内科	午前	吾妻 司 齋藤 圭子	齋藤 圭子	吾妻 司 栗橋 健夫	齋藤 圭子	吾妻 司 杉藪 康憲	吾妻 司 (第2.4) 桂 秀樹 (第1.3)
	午後	吾妻 司	吾妻 司	担当医	工藤 宏一郎	栗橋 健夫	桂 秀樹 (第3) 担当医
外科	午前	藤木 達雄	担当医	細井 温	担当医	担当医	藤木 達雄
	午後	花岡 建夫	担当医	担当医	小山 英俊	藤木 達雄	担当医
脳神経外科	午前		田中 雅樹※2			小林 啓一	専門医 (第1) 専門医 (第3.4.5)
	午後						専門医 (第3.4.5) ※3
整形外科	午前			新藤 正輝(月1回) 西島 豊			新藤 or 黒住(月1回)
	午後			新藤 正輝(月1回) 西島 豊			新藤 or 黒住(月1回)
消化器科	午前	生形 or 中浦					
	午後				小山 英俊		
循環器科	午前	藤木 達雄				杉藪 康憲	藤木 達雄
	午後					藤木 達雄	
腎臓・肛門科	午前		高木 由利				高木 由利 (第4)
	午後						
泌尿器科	午前						
	午後		佐々木 秀郎				
皮膚科	午前						
	午後	池谷 田鶴子					
専門外来	腎不全外来	午前		高木 由利※1		高木 由利※1	
	睡眠時無呼吸外来	午前	齋藤 圭子	齋藤 圭子	栗橋 健夫	齋藤 圭子	桂 秀樹 (第1.3)
		午後				栗橋 健夫	桂 秀樹 (第3)

(※1 完全予約制 / ※2 10:00から / ※3 15:00まで)

第137回 腎疾患ゼミナール

『自己管理をレベルアップさせよう ⑧』  
～腎不全と食事療法をもう一度考える～

腎臓内科：高木由利

日時：2012年10月11日(木)  
午後1:00～  
会場：オリモトホール(当院4F)  
参加費：無料



栄養科からのワンポイントアドバイス

『でんぷん米を使って

“鶏肉炊き込みご飯”を作ろう!!』 管理栄養士：和田 苑子

レシピ・  
試食付き

どなたでもご参加頂けます。皆様ぜひお越しください。

※10月の腎疾患ゼミナールは当初予定しておりましたが、10/25(木)より10/11(木)に変更となりました。